

パワーショベルのバケットが外れた

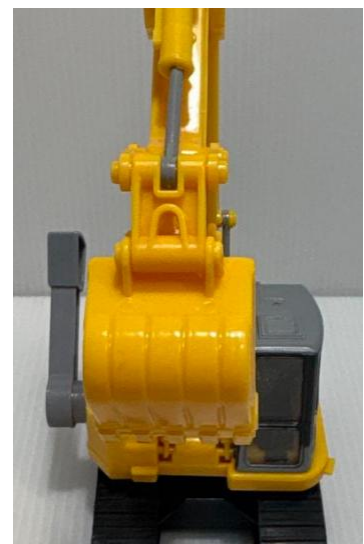
ゆきや 2025.4.1



灰色のレバーを回し、長い腕を動かして遊ぶパワーショベルです。

先端のショベル（バケット）を支える部品が欠けて無くなっています。これを復元して欲しいという依頼です。

どんな部品が付いていたのか、記憶はあいまいです。色々な画像を集めてみました。



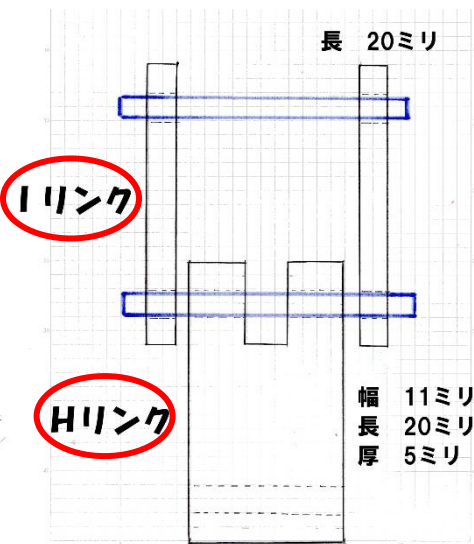
左端は実物の画像、右の二つはこのおもちゃと同型のものです。

パワーショベルの構造は、人間の肩から指先まで、そのままです。車体から出ている腕の部分は「ブーム」と呼ばれています。人間でいえば肩から出ている上腕です。その先に付いているのが「アーム」、人間の前腕です。先端の土砂をすくう部分は、掌、指先に相当するショベル「バケット」です。そして手首に当たる大事な部分が「リンク」です。そのリンクを油圧ピストンで押したり引いたりして、バケットを動かすのです。横から見ると、リンクはアーム、バケットと四辺形を形作っています。



リンクの内、バケットにつながるパーツはこんな形をしています。アルファベットの「H」に似たその形から、「Hリンク」と呼ばれています。上部はピンで油圧ピストンにつながります。

アームにつながる赤丸印のパーツは、これもアルファベットに由来して「Iリンク」と呼ばれています。



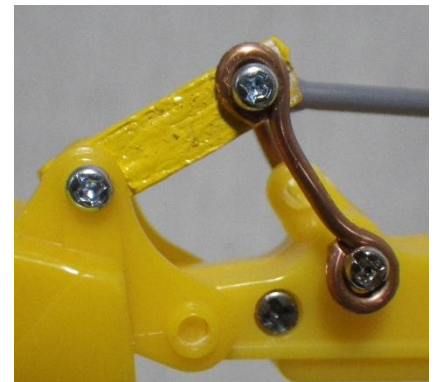
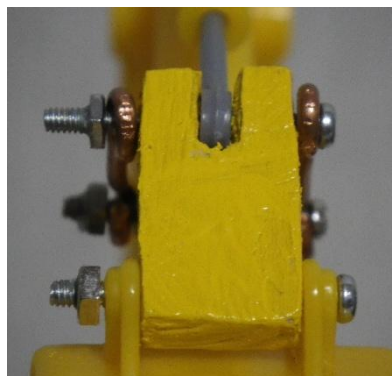
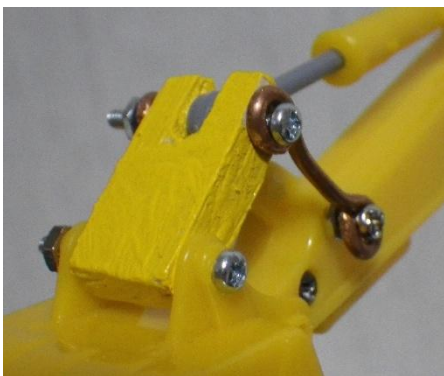
おもちゃのパワーショベルで、左図のようにHリンク、Iリンクのサイズを測ってみました。

どちらも手持ちの材料で、手作りしてみます。

用意したのは、厚さ 2.5 ミリの薄ベニヤ板、直径 1.5 ミリの銅線、直径 2 ミリ長さ 20 ミリのビスとナット、ワッシャーなどです。

ベニヤ板はHリンクの形に 2 枚作り、ビスを通すための溝を切ってから、貼り合わせ厚さ 5 ミリにしました。

Iリンクは、形状は異なりますが、銅線を眼鏡型に加工して作りました。



写真のように組み立てて、ビスを通して止めました。ナットの部分は接着剤を付け、抜け止めしました。

